

「中国・アジア」ダイジェスト

2013.08.05-08.23

*記事は東京発行・最終版

CHINA

8月5日(月)

独ボッシュ、成都に新工場
自動車用安全システム

独ボッシュは、四川省成都に自動車用安全システムを製造する新工場を開設。安全性への需要が高まる中、江蘇省東海に安全システムの性能試験場を6月開設。ニーズに迅速対応。(時事=5面)

8月6日(火)

三菱自、販売網を一本化

350店で全車種

三菱自動車は、中国に3系列ある販売網を一本化する。350の販売店ですべての三菱車を取り扱えるようにする。現地主導で協議を始めた。中長期的に30万台に拡大する。(5面)

8月7日(水)

「ららぽーと」上海に出店

200店舗、富裕層向け/三井不

三井不動産は、海外初となる「ららぽーと上海金橋」を上海市に2017年開業する。富裕層を中心とした需要を開拓する。アパレル系店舗やスーパー・マーケット、飲食店など約200店舗。(13面)

中国での介護参入支援で組織

大商/施設運営・人材育成・食品

大阪商工会議所は、「日中シルバー留学連携促進プラットフォーム」を設立した。参加企業の中国での介護ビジネス参入促進を支援。施設運営や人材育成、福祉用具、食品など幅広く。(24面)

中国の街並み
世界経済の行方のカギとなる

8月8日(木)

中国製鋼材で鍛工品

メタルアート/建機足回り部品

メタルアートは、中国製鋼材を使った建設機械車両向け鍛造部品の量産加工を、本社工場で秋にも始める。足回り用鍛工品の一部品種で、同社で初めて輸入材を採用する。(9面)

8月9日(金)

川重、2輪車を輸入販売

「ニンジャ」など/年5000台

川崎重工業は、中国で2輪車の輸入販売を始める。排気量250cc級以上の車・大型車を中心に展開し、年間5000台程度の販売を目指す。「ニンジャ」などスポーツ性の高いモデル。(5面)

上海に販売統括会社

ナブテスコ/建機用油圧機器

ナブテスコは、上海に現地企業と合弁で建設機械用油圧機器の販売統括会社を年内にも設立する。販売窓口を一元化、意思決定を迅速化。日系や現地建機メーカーにきめ細かいサービス。(6面)

マルエツ、中国1号店

高級食品スーパー/無錫市

マルエツは、中国の家電量販店大手・蘇寧電器との合弁1号店を無錫市に9月下旬開設する。複合商業施設の核店舗として高級食品スーパーを出店する。2017年までに20店展開。(13面)

再生医療で中国・タイ進出

JTEC・富士フィルム/現地で実証

JTECと富士フィルムは、再生医療事業で中国やタイ進出を目指す。経済産業省の調査事業に採択され、現地で実証プロトを始める。日本発の再生医療製品を海外で実証するのは初めて。(13面)

8月10日(土)

マツダ、メキシコに新工場

エンジン年産23万台

マツダは、メキシコのグアナファト州にエンジン機械加工工場を新設する。年産能力23万台。約120億円投資。「スカイアクティブ」を採用。「マツダ2(日本名デミオ)」などに載せる。(5面)

日立化成、シンガポール移管

半導体検査の配線板

日立化成は、半導体検査などに使われる先端の配線板の主力製造拠点を日本からシンガポールに移す。先端設備の導入や生産ラインのロボット化。日本と並ぶ拠点としてBCP対策を強化。(11面)

8月11日(日)

特許庁、ASEAN支援拡充

国内の中小、減免の要件緩和

特許庁は、2014年度概算要求に、ASEANの特許審査支援の強化と、国内の中小企業や研究開発型V-Bに対する特許料減免制度の要件緩和を盛る。煩雑な要件を簡便にして利用しやすく。(2面)

8月12日(月)

豊田技研、ベトナムで金型内製

車用照明部材を一貫生産

豊田技研は、ベトナムで金型を内製化し、自動車用照明部材を一貫生産する。主要顧客の車照明大手などを中心に品種増が見込まれる。現地工場は内需と日米やアジアへの供給拠点。(5面)

8月13日(火)

フジタ、インドネシア事務所

日系メーカーの工場建設

フジタは、9月にもインドネシアに駐在員事務所を開設する。自動車産業をはじめ日系メーカーの工場立地が相次いでいる。東南アジアではベトナム、フィリピンに次ぐ拠点。(13面)

8月14日(水)

鴻海、日本に開発拠点

有機EL要素技術

台湾・鴻海精密工業は、年内にも有機ELディスプレーの要素技術開発拠点を日本に新設する。シャープと共同で運営する大型液晶生産拠点の堺ディスプレイメガドクト内で交渉中。(1面)

8月15日(木)

タイ最大級の工業団地でBCP

住金物産など/エリアで取り組み

住金物産、住友倉庫、清水建設、富士電機などは、タイ最大級のロジジャニア工業団地のBCP策定に乗り出す。洪水では長期の操業停止。個社の対策では不十分でエリア単位で取り組み。(2面)

8月16日(金)

イタリア・インド・トルコで生産

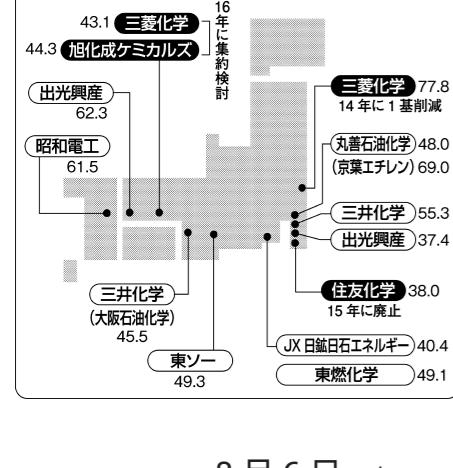
東洋機械金属/射出成形機

東洋機械金属は、イタリア、インド、トルコで射出成形機の生産に乗り出す。組み立てや周辺装置の製造を手がける各メーカーに技術を供与し委託生産。全電動式のが拡大すると判断。(1面)

スズキ、年産12万台

インドネシア新工場

スズキは、2015年稼働のインドネシア



8月17日(土)

台湾・協易機械、日本に本格参入

しのはらプレスと提携

台湾の協易機械工業は、日本でプレス機械の本格販売に乗り出す。しのはらプレスサービスと国内のアフターサービス業務で提携した。協易が販売したプレスの設置、点検、修理など。(8面)

8月18日(日)

洪水で深刻な被害を受けたロジャナバード

(2011年=ブルームバーグ)

洪水で深刻な被害を受けたロジャナバード

(2011年=ブルームバーグ)

洪水で深刻な被害を受けたロジャナバード

(2011年=ブルームバーグ)

洪水で深刻な被害を受けたロジャナバード

(2011年=ブルームバーグ)

洪水で深刻な被害を受けたロジャナバード

(2011年=ブルームバーグ)

8月13日(火)

中・台スマホメーカーから受注

大真空/水晶発振器

大真空は、中国と台湾の新興スマートフォンメーカー複数社から温度補償水晶発振器を相次いで新規受注した。全量を鳥取工場で製造。円安によるコスト競争力の向上が受注獲得の背景。(7面)

8月14日(水)

中国で生産自動化の導入支援

東京エレクトロンデバイス

東京エレクトロンデバイスは、中国で生産自動化システムの導入支援を始めた。主力の半導体事業を生かし、画像処理用システムLSI、カメラを組み合わせた検査システムを設計・開発。(7面)

8月15日(木)

日中貿易、4年ぶり減少

上期ドルベース/機械輸出減速

ドルベースの2013年1~6月期の日中貿易は10.8%減の1472億ドルとなった。上期ではリーマン・ショック後以来4年ぶりの減少。建設用・鉱山用機械や電気機器の輸出が振るわなかった。(3面)

8月16日(金)

宝山鋼鉄、9月値上げ

鋼材価格/5ヵ月ぶり

中国鋼大手・宝鋼集団傘下の宝山鋼鉄は、9月出荷分の鋼材価格を引き上げる。主要製品の全面的な値上げは5ヵ月ぶり。中国紙・上海証券報が報じた。すでに武鋼、沙鋼も公表。(時事=3面)

8月17日(土)

上海に金融装置技術センター

富士通フロンティック

大塚HD、輸液バッグ部品内製化

中国企業に出资

日産・スズキ・富士重工が前年超え

7月/中国新車販売

(7月5面)

最終承認を受けた。完成すれば同国初の浮体式ターミナルとなり、輸入の急増に対応できる。(時事=3面)

8月19日(月)

クラレ、中国生産を増強

面ファスナー・不織布

クラレは、生活資材関連の2子会社を一体運営する。面ファスナーと不織布の運営を一体化、クラレファスニングの中國子会社で不織布加工を始める。増設や新工場の建設を検討する。(8面)

8月20日(火)

染色機械、中国でサービス業務

日阪製作所

日阪製作所は、中国で染色機械のサービス業務を2016年4月に始める。7月末に中国で標準タイプの染色機の量産を始めたが、素材の染色試験対応などでサービスの現地化が必要と判断。(7面)

8月21日(水)

大型ダイカスト機、中国生産

宇部興産機械

宇部興産機械は、大型ダイカストマシンの中国生産を2013年度末から始める。中・小型機はすでに生産しているが、大型機は初めて。当初は海外生産の1割に当たる年6台程度。(7面)

TELOP

上海に金融装置技術センター

富士通フロンティック

大塚HD、輸液バッグ部品内製化

中国企業に出资

日産・スズキ・富士重工が前年超え

7月/中国新車販売

(7月5面)

アカ大機、北京・瀋陽に事務所

水処理装置(7日7面)

広州環境都市プロ/経営省事業に

みずほ銀行(7日15面)

三菱樹脂、農業フィルム工場完成

無錫/20億円投資(8日12面)

香港プロラミ株、過半取得

クラボウ(8日12面)

田辺三菱製薬、天津に新製剤棟

2015年3月完成(8日13面)

華東の鎮江汽車を買収

北京汽車集團(時事=9日5面)

中国にグラビア製版を納入

シンク・ラボ/環境配慮型(16日7面)